

五泉市

議会だより



第80号
令和8年
1月26日

■発行／五泉市議会 ■編集／広報委員会 ■議会事務局／〒959-1692 新潟県五泉市太田1094番地1
TEL.0250-43-3911 (内線370) FAX.0250-43-2716



祝 五泉市
二十歳の集い



(さくらんど会館：令和8年1月11日開催)

さて、現在当市では、全国的にも深刻な問題となつて いる少子高齢化や食料品や燃料等の生活必需品を中心とした物価の高騰など、解決すべき多くの課題を抱えております。令和9年度から新たに始まる第3次総合計画を現在策定中であります。が、課題解決に向け効果的な政策を反映し、推進していく必要があります。議会と行政は車の両輪に例えられます。が、市議会をいたしましても、議員一人ひとりが、市民の皆様の多様な声を十分にお聞きしながら、当局とともに健全な市政運営にあたつてまいる所存です。

今後とも、市政の課題解決に向け、皆様の期待に応えるべく誠心誠意尽くしてまいりますので、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして幸多く、大いなる飛躍の年となりますことを心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

市民の皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかにお迎えのこととお喜び申し上げますとともに、日頃から市政発展のために多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、任期の前半2年を終え、条例の規定に基づいて委員会等の構成替えを行い、再スタートいたしました。より身近な議会を目指して議会運営に努め、五泉市のさらなる発展のために努力してまいりたいと、決意を新たにしております。



議長
林茂



副議長
羽下貢

貢

議長あいさつ
(年頭のあいさつ)

令和7年第6回

12月
定例会

令和7年度各会計補正予算等40議案を審議

令和7年第6回12月定例会が12月3日に招集され、12月19日までの17日間の会期で開催されました。

初日の3日は、会期の決定、議長報告、議第90号議案1件を審議・可決した後、市政一般に関する質問の一部を行いました。

2日目の4日は、引き続き市政一般に関する質問を全て行い、議案15件を一括議題として当局の提案説明を行い、議案に対する質疑後各常任委員会に付託しました。また、請願1件を所管常任委員会に付託しました。

最終日の19日は、委員会付託案件について各常任委員会の審査報告に続いて討論、採決が行われ、それぞれ可決・採択しました。その後、教育委員会委員の任命等に関する人事案件10件、日程追加された、市長からの追加議案12件、選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙、議員発議1件、議員派遣を審議・採決して閉会しました。

12月定例会の日程

月 日	内 容
12月3日(水)	本会議（開会、会期決定、議長報告、議案審議、一般質問）
4日(木)	本会議（一般質問、議案上程、質疑、委員会付託、議長報告）
9日(火)	総務文教常任委員会、市民厚生常任委員会
10日(水)	建設産業常任委員会
19日(金)	本会議（委員会審査報告・採決、議案審議、閉会）



編集後記	主な議案の議決結果	発議	請願	一般質問(10名)	会派構成の変更について	市民厚生常任委員会	建設産業常任委員会	総務文教常任委員会	委員会審査報告	◆ 目次
	10 11 9 9	5 8	4	4 4 3 3	2					ページ

総務文教常任委員会 審査報告

(主な質疑)

○佐藤 渉 林 茂 鈴木 良民 鶴巻 裕子
○魚野 洋樹 阿部 周夫 佐藤 良徳

五泉市交流拠点複合施設ラボルテ五泉の指定管理者の指定について 【財政課】

問 今回の指定管理者を決定する際、審査をする方々は何名で、どのような役職や立場の方々が審査に当たられたのか。また、前回の指定管理者を決めるときも同じ方だったのか伺う。

答 指定管理者の選定委員は、条例に基づき学識経験者と市の職員の6名で、市内在住の自営業の方や団体職員、会社を経営されている方で、そのうち1名は、前回の指名のときにはいらっしゃらなかつた方です。

問 このたびの更新に当たり、現在の指定管理者から応募はあつたのか伺う。

答 今回、指名をお願いする団体と、現在、指定管理を行つてゐる団体の2者から応募があり



ました。

問 今度、Go Go!せんチームが指定管理者となつた場合に、現状と何かが変化する要素があつたのか伺う。

答 プrezentテーションの中で、構成団体の方がイベントを開催する会社であるため、そのノウハウ等を生かして様々なイベントをあの場でやりたいという話がありました。また、物販の部分も充実させたいという話もあつたと記憶しています。

問 カードの保有率は令和7年3月末で80・2%、10月末現在で82・3%である。2・1%増えており、増加傾向であるとのことであるが、健康保険証との連携状況について伺う。

答 国民健康保険では、今年9月末現在で加入者8,017人のうち6,214人が登録しており、登録割合は77・51%となっています。後期高齢者医療では、今年7月末現在で加入者数1万3人のうち7,474人が登録しており、登録割合は74・72%です。

市民厚生常任委員会 審査報告

(主な質疑)

○白井 妙子 羽下 貢 山田 正良 阪井 明子
○熊倉 政一 波塚 静亮 小林 泰訓

個人番号カードと健康保険証の連携状況について 【市民課】

高齢者運転免許証返納の報償費39万6,000円の追加について 【環境保全課】

問 高齢者の方が運転免許証を自主返納された際の支援として、ふれあいバス及び乗合タクシーさくら号の回数券、さくらんどう温泉及び馬下保養センターの利用回数券、ラボルテ五泉のお買い物券からお選びいただき、ご利用いただいているもので、今回不足が見込まれるため追加をお願いするとの説明を受け、補正分を含めた総額での申請見込み数と推移について伺う。

答 今年度の申請見込み数は193人です。令和5年度は177人だったので少し増えています。

(◎委員長 ○副委員長)

五泉市議会ホームページをご覧ください

五泉市議会

検索

建設産業常任委員会 審査報告

(主な質疑)

○深井 邦彦 剣持 雄吾 桑原 一憲
○佐藤 浩 長谷川政弘 大橋 建太

現在の五泉応援団の会員数及び近年の推移について【商工観光課】

問 約740名の会員がいるが、会員構成が高齢化し、近年は会員数が減少してきていることであるが、会員数を増やすための取組は行っているのか伺う。

答 五泉応援団の加入条件について、五泉市の出身者やゆかりのある方としていましたが、令和6年の総会で規約改正を行い、五泉市を応援してくれる方も加え、新規会員獲得に向けて努力しています。

が特別栽培農産物等の生産拡大に要する経費について10アール当たり7,500円を補助するものであるとの説明を受け、補助金の周知方法を伺う。

答 農家組合を通じて10月に事業の周知と要望調査を行い、その後、申請案内の回覧を行っています。

補助対象となる面積の見込みについて伺う。

答 対象面積は、6,088.6アールを見込んでいます。

問 補助金によって販売農家の経営改善等にどのような影響があると考えているのか伺う。

答 化学肥料から有機質資材に転換することにより付加価値が高められることで、安定した農業経営に結びつけたいと考えています。

みどり計画実践加速化支援事業補助金追加について【農林課】

問 化学肥料から有機質資材等への転換をするなど、販売農家

(◎委員長 ○副委員長)

会派別の構成は次のとおりです

令和7年12月18日現在
◎会派代表者

新しい五泉 (あたらしいごせん)	◎阿部 周夫 剣持 雄吾
五泉月曜クラブ (ごせんげつようくらぶ)	◎鈴木 良民 白井 妙子 山田 正良 佐藤 良徳 桑原 一憲
政新クラブ (せいしんくらぶ)	◎熊倉 政一 林 茂 大橋 建太 鶴巻 裕子 魚野 洋樹 深井 邦彦 小林 泰訓
清流クラブ (せいりゅうくらぶ)	◎羽下 貢 長谷川政弘 阪井 明子
藤の会 (ふじのかい)	◎佐藤 渉 佐藤 浩
会派に属さない議員	波塚 静亮

会派名：五十音順

【会派】五泉市議会内で政策を同じくする議員の集まりで、政治活動を行うことを目的に、代表者や構成員数を明確にして届け出ている団体です。



一般質問

問 答

10人が市政を問う！

【一般質問とは】 各議員が市長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて、所信や疑問をただすことです。「議会だより」では限られた字数で広報委員会が編集しています。

編集方法は、本会議において各議員が行った一般質問の中から項目を1つに絞って編集を行っています。

質問、答弁の詳しい内容は会議録でご覧いただけます。今定例会の会議録は五泉市ホームページで2月頃から閲覧いただけます。



五泉市における
有害駆除の現状対応と
課題

羽下 貢議員

問 今年は、全国的に熊の被害が過去最悪で、当市においても被害者が出て、市民の安心安全が脅かされている。さらに緊急銃猟も実施された。猪や猿の被害も増加している。これに関して当市の現状の熊、猪、二ホンジカ、猿の出没報告件数、有害鳥獣対策連絡会議の議論、獣友会の見回りや罠の設置・駆除の件数と費用、11月に行われた緊急銃猟についても伺う。また、市民の安心安全を守るために具体的な対策を伺う。

答 出没報告件数は、12月1日現在熊123件、10月末現在猪45件、二ホンジカ零件、猿30件。被害防止施策推進を目的に有害鳥獣対策連絡会議を設置し6月に会議を開催した。獣友会への報酬は、県の緊急対策事業を活用し予備費を財源として1時間当たりの報酬の増額、捕獲用の箱罠、防御用の楯、注意看板などの資機材の整備も含めて予算措置を行つた。緊急銃猟についてもハンターへ謝礼を支払う。11月13日に小堀地区において市内初の緊急銃猟を安全かつ適正に実施した。引き続き関係機関との連携を強化し安心安全の確保に取り組んでいく。



小中学校の登下校時に
おける熊出没時の対策
と今後の方策について

小林 泰訓議員

問 10月30日に五泉東小学校内で熊が出現し、低学年棟の窓を叩いていた様子が目撃された。その後、11月22日に校庭内に再び現れた。校庭内にクヌギの木が生えており、ドングリを食べに来たようだと報告が上がっていた。1回目の出現後、入口にポールを設置、チエーンを2段にする対策があつたものの、それを乗り越えてきたのではないかと予想される。鳥獣被害対策について、今後五泉市がどのように対策していくのかを伺う。

答 11月6日に緊急課長会議を実施し、防災無線での警戒放送や警戒チラシの全戸配布などを行い、警戒体制の強化を図った。また、新潟県から熊の捕獲等の取組に対する緊急支援事業が新たに創設され、予備費を財源に獣友会への謝礼や資機材の整備について予算措置をさせていただいた。市内各学校については、熊の出没が多発している現状において、県の熊出没時の対応マニュアルを各学校に配布し、登下校時の安全対策について指導している。引き続き、獣友会、警察署、関係機関との連携を強めていく。

中学生海外派遣事業の
現状と課題について



鶴巻 裕子 議員

問 当市には国際交流を推進する施策の中で、教育分野において大切な五泉市中学生海外派遣事業がある。ここ数年オーストラリアへの派遣が続いているが、今年は10名の募集でホームステイや学生同士の交流など有意義な内容で、参加した中学生の報告会も素晴らしいものであった。しかし、報告会の出席が少なく残念であるという声を聞く。市の補助金を使い成り立っている事業であり、将来の五泉市を担う若い世代の教育の為にも、この事業をさらに広く周知させ、多くの市民の皆様に内容を共有する必要がある。そこで、選考方法や告知方法の現状を伺う。また、更に発展させるべく今後について当局の見解を伺う。

答

募集に関しては広報ごせん、国際交流協会のSNS、市内の中学生には学校を通じたパソコンアプリケーションで告知している。選考は国際交流をテーマに作文と英会話での面接で、困難に立ち向かうバイタリティーなども審査の対象にしている。今後も国際交流協会と連携し、情報発信の充実や成果報告の工夫が図れるよう努めている。

消雪パイプ敷設と
歩道除雪について



阿部 周夫 議員

問 高齢化社会での消雪パイプ敷設は、雪国新潟にとって必要不可欠である。高齢者には、除雪車による道路除雪後に車庫や家の玄関先に雪の塊が残っていることは非常に厄介であり、雪の塊処理に大変苦慮している現状が続いている。令和8年度以降に向けて、市内各地域において、より敏速にかつより広域的消雪パイプの敷設工事を行うべきである。また東南環状線開通等に伴い、通勤通学者の利便性と安全確保のために、歩道除雪を今まで以上にしっかりと行うべきである。

答

五泉地区において市街地中心部より順次整備を進めている。消雪パイプによる消雪は、交通量の少ない道路では効果的な消雪が期待できず、機械除雪のほうが有利な場合もある。消雪パイプと機械除雪を効果的に配置し、冬場の安全安心な交通確保に努めていく。また消雪パイプの整備には多額の費用が必要となり、国の補助金を利用して進める。引き続き必要な財源を確保し整備の推進を図つていく。今後も市民の利便性と安全確保のため、良好な道路環境の整備に努めていく。

防災行政無線の運用
改善について



桑原 一憲 議員

問 防災行政無線には様々な課題があり、常に運用改善を図ることが重要である。情報内容の緊急性や目的別に発信方法を変え、さらなる適正化を図るとともに、情報伝達の遅延を防ぐなど、よりタイムリーな情報伝達体制を整備すべき。また、庁内の横断的連携や市民、学校であれば運営協議会を通じた地域との連携、無線以外の伝達手段との連携、技術的な進歩への対応を強化しなければならないと考える、五泉市の現在の状況や今後の計画はどのようになっているのか伺う。

答

防災行政無線は市内全域に208基が整備されているほか、自動音声サービス、あんしんメール、LINEでも同様の内容を配信している。加えて、今年度戸別受信機を対象者に無償貸与し、情報伝達手段の多様化を図っている。目的別では災害が発生した場合、最大音量でサイレンを鳴らして避難情報を放送している。その他、緊急地震速報やミサイル情報など国が直接情報を伝達するJアラートがあり、今後も関係機関と協議を進めながら課題と認識している伝達遅延解消に努めるとともに、マイタイムライン作成を継続して、啓発していく。



第2次五泉市人口ビジョン・
総合戦略事業の現状評価と
今後の施策について

山田 正良 議員



問 五泉市独自の奨学金貸与制度、また減免制度はあるが、その上で大学生のおおむね3人に1人が利用する日本学生支援機構が扱う国の奨学金を利用された方を対象にした新たな制度をもつて移住、定住促進を支援すべきと考える。多くの自治体や企業が要件を満たす学生に対し、奨学金の返済を支援している。国は、自治体や企業の取組に対して、特別交付税措置などを講じることで支援をしており、返還全額肩代わり制度とも言える。地方創生の観点から、若者の地方定住を促す施策とした奨学金の返済に苦しんでいる若者の負担を軽減する政策として取り組むべきと考えるが、ご所見を伺う。

答 近隣の自治体においても上限を設けながら実施しているということも確認している。また、様々なやり方があり、今現在情報収集しているので、実際市内の企業の方々のお話も聞きながら、どのような形がいいのか研究を重ねていきたい。新潟県が主体で行っているメニューなどもあるので、いろいろ提案をしながら、実際に有効なものをつくつていきたい。

物価高騰対策について

佐藤 浩 議員



問 政府は、重点地方交付金の上積みをし、補正予算の策定、実施をしようとしている。この交付金の使い方として、プレミアム商品券の発行が物価高対策に有効性が高いと考えるが、当市はどのような事業を行う考えなのか伺う。

答 国の経済対策の中には、自治体が地域の実情に応じて物価高騰対策に取り組む重点支援地方交付金が含まれてお

り、プレミアム商品券を含む推奨事業メニューが示されている。五泉市が過去に取り組んだ商品券事業として、直近では、昨年3月に物価高騰対策「ごせん生活応援商品券」を発行し、支援を行つてきた。経済対策を速やかに執行し、一刻も早く国民へ支援を届けるという国の方針の下、迅速な対応が必要であると考え、各課に事業の提案を指示済みである。交付金の限度額が示された後、早急に事業を決定し、本定例会の最終日に補正予算を上程し、審議をお願いしたいと考えている。

学校給食の無償化について

波塚 静亮 議員



問 学校給食の無償化について、いよいよ来年4月より、ようやく国のはうでやるということが決まった。ただ細目が具体的にはこれから決まるということだが、子育て支援にとつては、非常に大きな前進だと思う。今の進捗、文科省から来ている通知の中身も含めてお知らせいただきたい。現状の状況と認識、対策を伺う。

答 給食の無償化は、自治体の財政力にようず、全国どこでも等しく受けられる制度であるべきと考えている。そういう意味では、このたびの国の施策として、無償化の制度が検討されていることは大きな一步であると考えているが、現時点では制度の詳細が示されていないので、差額の対応を含め、国の動向を見ながら検討を進めていく。学校給食の無償化の財源は、国の責任において全額国費で確保する仕組みとするよう市長会などが国に働きかけを行つているところである。五泉市では給食食材に地場農産物を積極的に活用し、学校給食を通じた食育に力を入れている。まだ無償化制度の詳細は不明だが、これまで同様、質の高い、おいしい給食の提供に努めていく。



本町商店街の中心にそびえ立つ老朽化した建物について

阪井 明子 議員

問 本町商店街の中心にそびえ立つ鉄骨5階建てのビルは、雁木に穴が開き、以前から危険ということで緊急対応として市より補修されている。このビルはにぎわいを見せていることもあったが、今では建物がお化け屋敷のようになっている。平成29年には町内費で解体という話もあった。他市町村では同様の建物が代執行により解体されている。当市でもどうにかならないものか。解体後、防災公園や健康維持の場所、駐車場などに整備できないのか。市の考え方を伺う。

答 この建物は、昭和48年に建設されてから50年以上経過している。所有者の法人は解散して、所有者はいない状況である。放置すると看板や外壁の落下の可能性があり、弁護士と相談の上、市として民法第687条の事務管理による緊急措置として、平成29年8月から令和6年3月までに緊急危険除去工事を実施し、工事費の総額は約1,040万円となつてている。建物の維持管理と費用は所有者が負担すべきものだが、今後も状況等隨時確認した上で、緊急的対応が必要になつた際は対処していく。



田邊市政1期4年を振り返って

大橋 建太 議員

問 2022年1月に田邊市政がスタートし、来月で1期4年の任期を終える。市長がこの4年間、特に力を入れて取り組まれたこと、そして結果として結びついたことについて、見解を伺う。

答 令和4年1月の市長就任以来、民間経験を活かしたトップセールスで市の知名度向上と交流人口拡大を目指して邁進した。観光面ではG7新潟財務大臣・中央銀行総裁会議時の要人対応や台湾との交流を深め、拠点施設「ラポルテ五泉」は目標を大幅に上回る来館者を達成した。子育て施策では「子どもどまんなかづくり」を掲げ、子供の意見を反映した計画策定や、官民連携による居場所開設など支援体制を構築した。その他、挨拶激励や庁舎環境の改善により、市民が親しみやすい市役所への変革を実現した。これらの結果として、五泉市のメディア露出も増え、実質的な知名度向上につながつたと認識している。今後も、訪れてよし、住んでよしの新潟県ナンバーワンの五泉市を目指し、職員一丸となつて取り組んでいく。

新しい選挙管理委員会委員及び同補充員が決まりました

【委 員】水戸 信明 氏、長澤 巖 氏、坪井 祐子 氏、瀬倉 鐵男 氏

【補充員】斎藤 博子 氏、佐藤 幸代 氏、松尾 正幸 氏、伊藤 健一 氏

以上の方々が当選されました。任期は令和8年2月22日から4年間となります。

請願について**一 次の請願を採択としました。一****◆請願第5**

「私立高校の学費負担軽減と専任教員増を促進するため、私学助成の増額・拡充を求める意見書」の採択を求める請願

発議について**一 次の発議を可決しました。一****◆発議第6号**

【送付先】内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、衆議院議長、参議院議長、新潟県知事

私立高校の学費負担軽減と専任教員増を促進するため、私学助成増額・拡充を求める意見書

新潟県では、高校生の4人に1人が私立高校で学んでおり、私立高校は公立高校と同様に公教育に重要な役割を担っている。

令和7年2月に自民党・公明党・日本維新の会が「高校授業料無償化」について合意したことを受け、公私ともに年収910万円以上の全世帯に年額11万8,800円を支援するための予算を計上した修正予算が3月末日に成立した。また、「3党合意」では、令和8年度から授業料支援額を直近の私学授業料平均額に相当する45万7,000円に引き上げ、年収590万円の所得制限を撤廃することも盛り込まれている。

しかし、授業料以外の施設整備費及び入学金は国の就学支援金制度の対象とはなっておらず、新潟県独自の助成制度も一部助成に留まっており、対象世帯は9%とわずかな世帯に限定されている。そのため、授業料を除く学費負担の公私間格差は依然として大きな開きがある。

一方、私立高校の教育条件の維持、向上をはかる上で、経常費助成予算の増額が求められている。教員の長時間勤務が社会問題となり、教員のなり手不足や教員未配置問題も深刻な状況になっている。専任教員数の公私比較では、全教員に占める専任教員の割合が公立で約74%を占めるのに対して、私立は約60%にとどまっている。一人ひとりの生徒にゆきとどいた教育を行うためにも専任教員の増員は欠かせない。

よって国、県におかれでは、下記の事項について特段の措置を講じられるよう要望する。

記

- 高等学校等就学支援金の所得制限を撤廃し、授業料支援額を直近の私立高校授業料平均額に引き上げること。
- 私立高校入学金や施設整備費への新たな助成措置を講ずること。
- 私立高校において専任教員の増員が可能となるよう、経常費助成を増額すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和7年12月19日

新潟県五泉市議会
議長 林 茂



主な議案の議決結果【第6回 12月定例会】

【○：賛成, ●：反対, -：欠席】

提出者	審議案件	本会議議決結果	議案概要																			
			議員名(議席番号順)																			
			1 魚 野 洋 樹	2 阪 井 明 子	3 小 林 泰 訓	4 鶴 巻 裕 子	5 大 橋 建 太	6 佐 藤 良 徳	7 山 田 正 良	8 波 塚 静 亮	9 深 井 邦 彦	10 桑 原 一 憲	11 白 井 妙 浩	12 佐 藤 川 政 弘	13 長 谷 政 涉	14 佐 藤 良 民	15 鈴 木 政 一	16 熊 倉 雄 吾	17 剣 持 良 民	18 羽 下 周 夫	19 阿 部 貢	20 林 茂
	議第90号 専決処分の報告承認について（令和7年度五泉市介護保険特別会計補正予算（第3号））	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第91号 新潟県市町村総合事務組合規約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第92号 五泉市空家等対策協議会条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第93号 五泉市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第94号 五泉市スポーツ推進審議会条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第95号 五泉市体育施設条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第96号 字の変更について（桑山地区）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第97号 指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市	議第98号 指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第99号 指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第100号 令和7年度五泉市一般会計補正予算（第5号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
長	議第101号 令和7年度五泉市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
	議第102号 令和7年度五泉市介護保険特別会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
	議第103号 令和7年度五泉市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
	議第104号 令和7年度五泉市水道事業会計補正予算（第3号）	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
	議第105号 令和7年度五泉市下水道事業会計補正予算（第3号）	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
	議第106号 五泉市教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第107号 五泉市川東財産区管理会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第108号 五泉市川東財産区管理会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第109号 五泉市川東財産区管理会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※1 法律に特別の定めがある場合を除くほか、地方自治法第116条の規定により、議長は表決に加わっていません。

主な議案の議決結果【第6回 12月定例会】

【○：賛成, ●：反対, -：欠席】

提 出 者	審 議 案 件	本 会 議 議 決 結 果	議 案 概 要																		
			議 員 名 (議席番号順)																		
			1 魚 野 洋 樹	2 阪 井 明 子	3 小 林 泰 訓	4 鶴 巻 裕 子	5 大 橋 建 太	6 佐 藤 良 徳	7 山 田 正 良	8 波 塚 静 亮	9 深 井 邦 彦	10 桑 原 一 憲	11 白 井 妙 浩	12 佐 藤 長 谷 川 政 弘	13 佐 藤 政 涉	14 佐 藤 鈴 木	15 熊 倉 良 民	16 劍 持 政 一	17 羽 下 貢 周 夫	18 阿 部 茂	
	議第 110号	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第 111号	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第 112号	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第 113号	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第 114号	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○
	議第 115号	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第 116号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市	議第 117号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第 118号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第 119号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
長	議第 120号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第 121号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
	議第 122号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
	議第 123号	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
	議第 124号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
	議第 125号	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
	詰問 第4号	適任と 認める	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	詰問 第5号	適任と 認める	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請 願 者	請願 第5号	採択	●	○	○	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	●	●	●	●
議 員	発議 第6号	可決	●	●	○	○	●	○	○	○	●	○	●	○	●	○	●	●	●	●	●

※1 法律に特別の定めがある場合を除くほか、地方自治法第116条の規定により、議長は表決に加わっていません。



令和8年1月4日 はしご乗り奉納（村松方面隊 はしご隊）

編
集
後
記

新年あけましておめでとうございます。
市民の皆様には、日頃から市議会へのご理解とご協力、ご意見を賜り、誠にありがとうございます。

新年にあたり、私たち市議会議員もより一層気を引き締め、大きな耳で小さな声を傾聴し議論を進め、市民の皆様の気持ちや思いを反映させた議会広報の掲載を心がけてまいります。

今年一年が、皆様にとりまして、幸多く、大いなる飛躍の年となりますことを心からお祈り申し上げます。

■広報委員会

委員長 副委員長 委員
佐藤 佐藤 阿部 佐藤
大橋 桑原 道原 洋樹
魚野 周良 建太 憲夫 涉徳

佐藤 阿部 佐藤 洋樹 周良 建太 憲夫 涉徳

議会に関するご意見・ご要望をお寄せください。五泉市議会事務局 TEL 0250-43-3911